

# 令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 水環境課  
 担当名: 浄化槽・豊かな川づくり担当  
 内線: 3075 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p8	豊かな川を育む浄化槽台帳デジタル化推進事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	浄化槽対策費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	浄化槽法			針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール 6
						分野施策	1007	公害のない安全な地域環境の確保	SDGsターゲット 6-3, 6-6, 6-b
1 事業概要			5 事業説明						
<p>SDGsの実現に向け、合併処理浄化槽への転換と浄化槽の適正な維持管理を促進し、未処理の排水を削減することにより、河川の水質を改善するとともに海洋汚染を防止する。</p> <p>維持管理業者等と連携して清掃等の情報を浄化槽台帳に集約し、転換や法定検査受検の指導の効果的・効率的な実施を通じ、公共用水域の水質改善を図る。</p> <p>ウ 浄化槽台帳システムの運用 △8千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 維持管理情報自動集約システムの運用保守                      保守点検業者約600社、清掃業者約200社及び指定検査機関2社の維持管理情報の報告をデジタルで収集するシステムの運用及び保守を行う。</p> <p>ウ 浄化槽台帳システムの運用                      改正浄化槽法に対応した浄化槽台帳(Z-joinシステム)の運用を行う。 729千円→721千円</p> <p>(2) 事業計画                      改正浄化槽法により浄化槽台帳の作成が義務化されるとともに維持管理情報の記載が必要事項となったことから、ア 維持管理情報をデジタルで収集するシステム・体制を構築し、運用・保守を行う。                      ウ 精査された台帳を活用し、転換や法定検査受検の一層の促進を図る。</p> <p>(3) 事業効果                      転換や法定検査受検の指導を対象者に直接行うことができることから、合併処理浄化槽への転換の促進と法定検査率の向上により、公共用水域の水質改善が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      法定協議会を通して、浄化槽関係業者や指定検査機関、市町村と連携して台帳整備を行う。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 循環型社会形成推進交付金の充実に伴う財源更正。                      (国庫支出金) 1,998千円                      (一般財源) △1,998千円</p> <p>ウ 執行の節減による役務費の減。 △8千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)衛生費 (細目)生活衛生指導費(細節)廃棄物処理対策費 (積算内容)廃棄物処理対策に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△8	1,998						△2,006	28,063
現計額	28,071	5,280						22,791	

## 事業内訳書

事業名	豊かな川を育む浄化槽台帳デジタル化推進事業費		
単位事業名	維持管理情報自動集約システムの運用保守	予算額	0千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 環境費補助金	1,998	—	循環型社会形成推進交付金 補助率 定額
一般財源	△1,998	—	
合計	0	—	

単位事業名	浄化槽台帳システムの運用	予算額	△ 8千円
-------	--------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△8	—	
合計	△8	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△8	—	経費節減による通信運搬費の減

単位事業名	浄化槽台帳システムの運用	予算額	△ 8千円
-------	--------------	-----	-------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△8	—	